

空と僕と自転車と
ni



mashita  sakana

とりあえず走り出したのだけれど、前の自転車のクセが残っていて、とても乗りづらい。

これからずっと付き合っていけるか、心配になってきたよ。



とりあえず、名前つけないとね。

道中の安全を祈願して、通りすがりの神社にお参り。
今は住宅地の真ん中だけど、昔はこの周りは全部田んぼだったんだろうなあ。



「白い」っていうのは、押さえておかないとね。

どうにも非力な足。

洋服屋さんで、よく、男性にしては足細いですねっ、ていわれた。
ほっといてくれ。



ミニベロっていう、ちょっとポップなところもポイントかも。

道中の安全を祈って、って、何回祈ってんの（笑）
さっきのとは、また違う神社。

京都は神社も多いです。



白いポップな自転車なあ。。。
白、しろ、シロ、、、、。



足回りがやたら強化された鳥居。

おそらくクルマが接触して、倒れたという過去が有るんだろうな。
鳥居というより、鉄柱だなこれ。

交通安全にぴったりかも。



ポップ、なあ。

ポップといえば、ポップス、、、歌かあ。

この川は桂川。上流に嵐山。
あの橋を渡ると、本当に京都市街にはいるんだけど。



こんなことや、



こんなことや、



こんなことしてるから、なかなか渡れない。。。



白って、ホワイト、、、ブランカとかもあるな。

桂川東岸のサイクリングロード

梅檀の小さな花達が樹全体を覆っていて、あたりに香りが立ちこめている。



この道が北へと伸びている。
自動車もバイクも来ないから、とても走りやすい。



左を見下ろすと、菜の花畑、、、の上を数えきれないモンシロチョウがとんでる。



最初は、ネイビーのにするつもりだったんだけど、どこにも在庫が無いとかで一度は断った白にしたんだけど。



白で正解だったな。写真写りいいよ、キミ。

”ブランカ”。うーん、カッコいいな。
ブランカと言えは、”カサブランカ”。

全然関係ないな。

みなさん、格好が本格的で速いです。足の回転するスピードが違う。



お約束の飛行機雲。



この小屋のペイントの色がいい。

単なる錆び止めの色かもしれないけど、インパクトあるなあ。

たこ焼きとラムネか売ってたら笑えたかも。”ドライブスルーで一す。”とか。



もっと北へ行きたかったけど、キリが無いので東へ入る。
路地をくねくねと行くと、東寺の屋根が見えてきた。



この高い塔が木造だって事にビックリする。
平安時代の人、もっとビックリしただろうなあ。



南門 観光客のみなさんは、普通こっちから入るけど、
自転車で乗り入れるのはさすがに憚られる。
常識ある大人なんで。一応。ふんふん。



コンデジだと、これが限界。。。

東北の隅のこっち側からはクルマで乗り入れが出来る。

でも、京都にクルマで来ちゃダメです。

観光寺院より、路地路地に点在する小さな玉手箱を開けてみるのが、京都の楽しみ方。





前かごつけてやらんとな。

あと、ドリンクホルダーと泥よけどうしようかなあ。



自転車用のジェットエンジンてあったっけ。

こう、サイクラーに抜かれっぱなしって言うのも、ちょっと、、、ボタンぽち、どひゅーーん、なんて。

ズルじゃね、それ。

まだ開花には少し早かった睡蓮の池。



寝てる。



光線が強く暑いんだけど、空気が乾いていてどんどん汗が引いて行く。



でも、おしり痛い。

平安寺院には朱色が良く合うなあ。

人々が求めたのは、現世の極楽浄土なんだから。くすんだ木の色だと生命感が無い。



仏さんも金ぴかだし。ある意味ロックだね。



修学旅行生&タクシーのおっちゃん



修学旅行で、京都に来たかったなあ。。。。

帰り道。

乙女美容室！

きっと、昔は乙女だった婆さんが、いまもやってる、、、なんてこと想像。



着付けの”着”の略し方が大胆すぎる。

どうみても”N”

崩れそうな屋根。

今を盛りの生け垣の花。



これだから、町歩きは止められない。



桂川西岸

ヒメジョオンの花が延々と続いてる。か、かわいい。嬉しすぎる。



白にちなんで、"ヒメジョオン"号とか。。。。人に言えんな。

いや、まてよ。いい歳をした大人が、チャリに名前つけること自体、人には言えんな。

でかい。
ピント合わせて、、、



あ”





随分走った。

足だけじゃなくて、全身くたくた。



でも、風を受けて、心臓がバクバク言って、坂道を登って、腕が真っ赤に焼けて、自転車って、なんて楽しいんだろう！



”ラジオで流れてた、はやりの歌を歌いながら、
一人で歩いていたあ。

あの公園にはもう、誰も来ない。
滑り台は小さすぎるし、雲梯には足がつく。

子供たちは外で遊ばなくなったけど。
僕はいつか、誰かとここに来るだろう。

ここが僕の楽園だった事を、知って欲しい誰かと。”

、、、なんてね。

さてと、キミの名前なんだけど。

白くて、ポップっていうキーワードをミックスして、シロップ号だ。

これから10年20年。よろしくね。



いや、そのひと。単なる駄洒落じゃねーか、なんて言わないように。。。

写真集「空と僕と自転車と」
写真集「空と椿と木蓮と、そして花水木」
写真集「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」
連載中 「ネガティブズ」

写真集「空と雲と、ときどき春の野を行く」
写真集「空と月と、夜桜デート」
写真集「空と木と、ときどきの梅暦」
写真集「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」
写真集「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」
写真集「空と木とたまに月」
写真集「からくれないに」

「黄金の麦畑」

1.Largo

第1回 ～ 第41回

「黄昏の王国」

イーリアス編

アリシア編

ー 僕カノシリーズ ー

「僕が彼女に殺された理由（わけ）」
「僕と彼女の選択の事由（わけ）」
「僕と彼女はそれしか答えを見つけれなかった。」
「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」
「僕と彼女と複雑な関係者たち」
「僕と彼女と単純な関係式」
「僕と彼女と校庭で」
「僕と彼女と校庭で「夏」」
「僕と彼女のアリア」
「僕と彼女のインベンション」（次回）

ー その他 ー

傘がない
夕暮れの赤ちょうちん
いもうと
サマータイム・ブルース
危険なドライブがマラック
デフラグメント
インフルエンス あんこの僕たち
花舞い、名残り雪

詞画集「ただ憶れだけを」

写真集「空と雲と、ときどき月」

写真集「夢みる桜」

